

日独放射線医学交流計画に基づく交換留学生募集について

日本医学放射線学会 理事長 青木 茂樹
日独放射線医学交流計画 事務局 長縄 慎二

日独放射線医学交流計画(Japanese-German Radiological Affiliation)は1979年9月、日本医学放射線学会およびドイツ・レントゲン学会両会長の署名の下に発足し、1983年より2年に1回日独両国の放射線科医が集まってWorkshopを開催しています。また1991年より交流計画事業の一環として日本からドイツへの留学制度をスタート致しましたが、2005年からは交換留学制度(Exchange Program)として双方向の交流を図っております。ついては下記要領にて2024年度交換留学生を募集致します。ドイツでの研修または研究に興味をお持ちの先生方の応募を歓迎します。

記

[日独放射線医学交流計画交換留学制度]

目 的 : 互いの留学先国において放射線医学を研修ないしは研究し、帰国後は自国の放射線医学の発展に寄与すると同時に、日本-ドイツ放射線医学の交流に尽くす人材の育成を目的とする。

資 格 : 1. 放射線科を専攻する45歳以下の医師。学位、専門医の資格は問わないが、既取得が望ましい。
2. 自施設にてドイツからのカウンターパートナーを受け入れ、サポートすることが可能であること。
3. 語学力(ドイツ語または英語)が十分であること。
4. 2025年3月までに留学開始が可能であること。
5. 本制度を利用したことのない者。

募集人数 : 2名

留学期間 : 原則として3ヶ月

支給額 : 交通費(航空運賃)および滞在費の一部として5,000ユーロを支給する。

選考方法 : 応募書類に基づき、選考委員会にて厳正な審査の上決定する。

応募要領 :

1. 応募方法 : 事務局にメールにてお問い合わせ下されば、必要書類を送付しますので、必要事項を記入の上、事務局宛に送付して下さい。

2. お問い合わせ先および送付先 :

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地 名古屋大学医学部放射線医学教室内

日独放射線医学交流計画事務局 長縄 慎二

TEL: 052-744-2327 FAX: 052-744-2335 E-Mail: gjra@med.nagoya-u.ac.jp

※交換留学生の募集は現在も承っておりますので、奮ってご応募ください。